



発行所 岐阜県加茂郡 東白川村公民館 印刷所 今井印刷

村の将来は俺達の手で!! 『青年建設班』結成さる



新しい農村、新しい東白川村の将来を背負って立つ青年たちが、合宿生活をしながら労力と学習と生活を通じて、新しい農業知識、技術の習得、体力の増進、自治能力の養成、社会人としての人格をみがこうと云う目的の青年建設班が去る十二月六日午後一時より、東白川村公民館に於いて行われた結成式で誕生しました。すでに広報等での計画のあらましはお知らせしましたが、新しい青年教育と農村の将来の二つの観点からこの建設班は大きな意義を持つています。十三名の班員は年令的にも十年近くの開きがあり、それが一堂に集って生活するわけですので、幾多の問題が起つてきましよう。ここではいづれの班員も平等であり、何等差初待遇はありません。その中で青年たちはどう過すかここにそのあらましを紹介します。

青年建設班の結成について時より、結成式が盛大に行われ、十一月の初めから具わりました。当日は県開拓制服装姿で出席し、村長から体的にその準備が進められ、課入植係長、加茂県事務所産業課長、農務係長をはじめ、来賓各位の祝辞に、力強い員の選定、宿舎の整備も終り、去る十二月六日午後一の参席を得て盛大に開かれ式終了後たゞちに班旗を先

頭に、六〇日間の合宿生活を営むべく、合宿所神付に向い合宿準備に専念しました。この建設班は、労働によつて自分達の生活を支えながら、学習することを目標にしていますが、運営はすべて自治組織による自主的なもので、作業も学習も生活の規律も、全部自分達で決めて活動するわけです。班の活動に対する指導運営上の直接的な助言には補導者があたり、広い立場からの指導や、予算的な問題などは、村、農協、森林組合の関係者で構成されて

いる建設班運営審議会で検討されることになっていきます。なお班員名は別表のとおりですが第二次加入として

氏名	年令	部 落
春行量	24	河口
政恒正	24	西大
口井倉瀬	22	親田
今島早安	20	下通
江田江	17	中神
江田井	17	尾野
江田田	18	地口
江田田	23	見須
江田田	23	下久
江田田	19	大須
江田田	22	下久
江田田	22	下久
古田政春	24才	補導員



【写真は「建設班」結成式】

「茶園開墾に着手」 黒淵へブルトナーくる

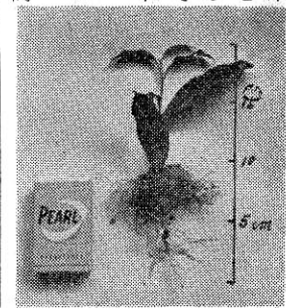
新農村計画の三十五年度 農業面の改革に大きな道し特別助成事業である茶園造るべとなることでしょう。成は、県開拓連合会のブルトナーが去る十二月十四日に到着し、第三工区(黒淵)の現場で作業を開始した。九トンプルトナーの作業と同時、昭和三十六年度能力はすばらしく順調に行けば年内に、黒淵、枋山の園および桑園等の開墾計画開墾が終り一月には、神付をたてられるよう呼びかけと、合計五町歩の茶園が開墾される予定です。そして春には茶苗が植付られ立派な茶園となり、今後の村の相談下さい。

合宿第一日の夜は、早速集会を開き、自治運営にとつと各組および委員会を結成し各々、組長、委員長を互選で決定し翌日より活動を行うことになり、作業学習、生活と今後一週間の計画の打合せを行いました。役員は次のとおり。
班長 今井 恒行
第一組長 田口 政春
第二組長 今井八十已
総務委員長 安江 晴雄
学習 安江 晴雄
生活 安江 晴雄
作業 古田 勝利
(関連記事三面に掲載)

茶の育苗順調に進む

優秀な平青年部

新農村計画の重要な部門として取り上げられている茶園造成事業は、同時に茶の苗木の生産という仕事を提供しているが、今年の六月村内で挿木された約四〇万本の苗木は十二月現在七〇%の活着率を示している。特に優秀な成績を上げたのは平農協青年部で六畝の畑に約六万本を挿木して八三%の活着率をあげています。これらの苗木は来年一年間そのまま成長させて昭和三十七年春に農協が一本三円で買い上げるこゝとになっているので、平青年部の五人の仲間



本村最高 米の出荷 記録樹立

今年、稲の作柄は全国的には史上最高と言われたが本村ではやゝ悪く、昨年の七一九七石に対して、七〇五二石という収量を上げた。しかし政府売渡量は飛躍的な伸びをみせ、予約数量を約一八%上回る四三七六俵

という本村初まつて以来の記録をつくった。これは営農計画の樹立と営農貯金による農産物の販売思想の普及や、農協の啓蒙がもたらしたものであると考えられるが、農協では更に増産と販売の増加を目ざして、すでに明年の営農計画にとりかゝっている。ちなみに本村の過去六年間の米の生産状況

年度	作付面積	総収量	反収	出荷数量
三〇	三九、九アール	六五七石	一六、七	六三三石
三一	三三、四	六〇九	一八、二	五八八
三二	三五、七	六〇九	一七、二	五八八
三三	三〇、六	五〇〇	一六、四	四八〇
三四	三〇、六	五〇〇	一六、四	四八〇
三五	三〇、六	五〇〇	一六、四	四八〇
三六	三〇、六	五〇〇	一六、四	四八〇

一年末を明るく

年の暮は毎年犯罪が多くなつていきます。昨年十二月の県下で発生した刑法犯は四〇三〇件で月平均より四割も多くなつていますが中でも他の月より多い犯罪は、強盗、暴行、屋外での窃盗、失火、過失による交通事故などです。今年も県下に防犯組合が生れて初めての年末を迎えました。みんなの力で村町から犯罪を締めだしましょう。

警察だより

一、大金を持つているときは乗りものを利用しよう
二、カバン、ハンドバックはスリがねらいます。現金は絶対入れないようにしよう。
三、外出は必ず戸締りをし室内は片付けて出よう
四、年末の忙しさと過労から交通事故が多発します。運転手はもちろん、雇用主も充分注意して人を傷つけないようにしましょう。

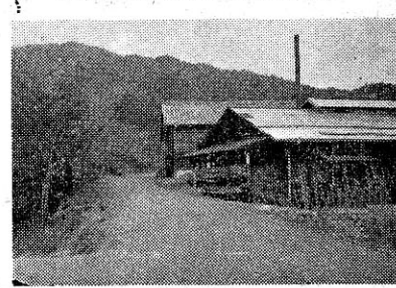
歳末たすけあいに協力を!

歳末を迎え、私達の村でも真に生活に困り、年の瀬をどうして越そうかと困つておられる家庭もある事を私達は忘れてはなりません。このような人達に対して今年も歳末たすけ合い運動をなつていきます。

展開することになりました。詳細は組長さんを通じて連絡してありますので、村民の皆さんの御協力を御願ひ申し上げます。

なお東白川婦人会から五千円の厚生費を村内の生活困窮者に寄附されることになりました。

むら・の・な・か



新しい農業の方向へ、一歩ふみ出している神付地区の姿。

農業の協同化という事は、日本の農村の合言葉になつていくが、いざ実行という段になると仲々容易ではない。その協同化をふくめて、現在の村の中で最も農業形態の進歩している所はこの神付地区ではなからうか。戸数三十六戸、耕地面積二十二町七反、一戸平均約六反三畝という数字はもとより恵まれたものではない。恵まれていないがゆゑに農業の形も進歩せざるを得ないのだとも言えよう。

四年程前「牧野改良」がまだめづらしかつた頃、すでにこゝではあちこちにオーチャードグラスの青々と新しい畜産経営の始めであり、その後和牛の多頭飼育へと新しい経営の要素とな

サイロがして、青年建設班の合宿が造られた。心地として、それにふさわしいにぎわいを見せて来たが、更に来春からはブルト月約三百キロの卵が出荷され、本村で最大(二町歩)(一町三反)級の共同茶園が誕生することになる。わずかの補助金と、融資による苦しい資金繰りではあるが、その進む方向はこれからの農村の行くべき道をはつきりと見きわめてい

現在の農村は、資本主義の大きな機構の中で、ゆさぶり続けられている。それは「農村」というものの根本を洗う波であらう。その波を憐れんでも、恐れても、それだけでは何にもならない。やはりそれは農民の力の結集で、それに対応する態勢を造り、やがてはより強い立場を築かなければならない。現在問題になつている農業基本法も、農業の曲り角論も、そのような姿勢で考えることが大切であらう。その意味で、神付を中心し、加舎尾、中谷、中通をふくむ地区の中で、次第に育つて来た、新しい農業経営の息吹きは、大いに注目されるべきである。

▽張り切る若い衆△ 青年建設班をたずねて

青年建設班の合宿所は神家の協力を得てもらい風呂付の稚蚕飼育場と神付クラとし、炊事は炊事婦のおはぶの二つがあてられているさんを一人たのんで、たらが、六十日間とはいえ補導ない所は班員が手伝うこと者に加えて十三名が生活すにした。それでも合宿が始るのであるからその準備はまつた六日の夜から七日に大変なものであった。合宿かけては、班員達は環境整が始まる前日までに宿舎に備に大忙しだった。ストーブの用意をするもの、棚の敷き、ガラス戸を立て、学材料を寄せる者、買物をす習室になるクラブもたみもの、障子をはる者、みを敷いた。炊事と風呂の間んがが仕事を分けあつて、題は身近かなだけに問題も責任をもつて片付けて行く多かつたが、風呂は近所の姿は、早くも青年建設班の

意義を感じさせるに充分であつた。このようにして整備された合宿所は見違えるように快適な設備がとつていられる。予定表の黒板、整理用のロッカー、衣服掛け、棚、炊事場はプロパンガス、食器は新しい給食用食器、なべもかまもしやもじも全部新しく購入した。中でも愛嬌のあるのはオンのボロ電気洗濯機だ。これは東白川病院で故障を起していたのを、廃物利用だとばかりにもらいうけて、モーターを直したものだ、赤チャケて歴戦のあとを物語る姿で結構役に立つている。班の構成は班長の下に組

を二つ置き、一組六名編成あつた。運営組織は、委員会を四つつくり全員がこれに参加して仕事を分担することにした。総務委員会は全体的な調整と会計、生活委員会は食事など、作業委員会は作業日程計画と実施、学習委員会は学習計画樹立と講師折衝などをそれぞれ分担するわけだ。ただ自己の権利を主張し相手の義務を追求する事に急な観念がともすると支配し易い年代に於て、だからも要求されないが、自分達で責任を分担し、自分達の義務を誠実に果そうとするこの組織と経験は、実に大切なものであると言える。

作業は尾城山の村有林整備作業に入りから従事しているが、往復四時間の道を朝六時に起きて、暗くなつてから帰り、夜は二時間の学習をするという事は、若さがなければ出来ない事である。それでも宿舎の附近は、合宿六日目ともなるとようやく落ちついた生活のたたふん囲気を感じしたり、も

ひめずらしがつつていたし、班員達も昨日ククリンでめしにありつた時よりもつと目を輝かせて男らしくふるまつていた。座談会、ひらめく班旗の下で記念撮影、映画観賞と、半日のプログラムの中で、共に明るく笑い声を交している班員と娘達、ひよつとするとこの中に、俺の未来の妻はあの娘、私の夫はあの娘、とひそかに心に決めていたり、つも居るかも知れない。その二人が結ばれた新しい家庭を造る時こそ、建設班の成果が実り、新しい農村が充実する時ではないか……その想いにふさわしい明るいひとこまであつた。

十一月三日組長会議の席上住民検診の成績優秀部落(80%以上)を村長表彰した。
国民年金の加入申込みは十一月末日現在約八〇%。
役場庁舎を東へ二間拡張
★ 本村の国勢調査による人口動態は次の通り。
昭和二年 五一六四人
三〇年 五〇九五人
三五年 四七二六人
農村の人口は年々減少して都市へ集中する。

青年建設班班長日記より

十二月七日 水曜日 曇
遠い山に降つてきた雪が頭の上
に落ちて来るようになった。今朝方(就寝中)の寒さには全員閉口
のようであつた。朝はカケ足で一
廻り、朝食を終えて宿舎、集会場
の整備に取りかゝる。買ひ物は全
都平まで下りなければならず一寸
苦勞であつた。まずまず上々の気
合で順当に整備できた。今夜から
もらい風呂が始まり、四軒のトナ
リを借りた。ゆうべの寒さでは充
分眠ることが出来ないで火鉢を
入れて暖をとることにした。また
用紙に書くものが多くて夜はもつ
ぱら各自、マジックとB紙に向つ
て黙々と残業。



(写真上 宿舎の障子をはる班員 右下 食準備)

全国農業新 聞をおす めしませ

農業委員会では全国農業新聞の購読をすゝめています。農業の新しい知識技術が掲載されています。週刊毎金曜日発行 定価一ヶ月四〇円、申込みは農業委員会へ。



**滞納整理は
お早く!**
中濃県事務所において
は年末及び年度末の滞納整
理方針をきめた。まず十二
月中を第一次整理期間とし
て悪質滞納者については財
産差押を実施する。また来
年一月から三月までを第二
次整理期間として一月中に
完納しない納税者について
は二月十五日までに財産差
押、三月十日までには公売
を実施するなど滞納者の一
理方針をきめた。まず十二

▽昭和35年度固定資産税第3期分期限内納付状況△

納税者	納付率
1	100
11	100
111	100
1111	100
11111	100
111111	100
1111111	100
11111111	100
111111111	100
1111111111	100
11111111111	100
111111111111	99.01
1111111111111	98.60
11111111111111	28.65
111111111111111	40.40
1111111111111111	97.97
11111111111111111	94.91
111111111111111111	57.58
1111111111111111111	35.10
11111111111111111111	99.98
111111111111111111111	98.97
1111111111111111111111	96.95
11111111111111111111111	93.93
111111111111111111111111	92.91
1111111111111111111111111	82.80

納税区名
口通付尾向山淵見田代沢野本谷洞神坂
大中神加日柄黒久下陰上宮大拍中西大曲

追加240万円 一般計 240万円追加 条例設定2件を可決

去る十月十日、東白川村陰地水路敷設
議会第七回臨時会が役場に於いて開
催され、本年度追加予算(歳入)
加予算他二件が審議された。追加予算は
原案通り可決され、他二件も
一部修正しただけで原案通り可決され
た。当日上程された議案の題目は次の通り

村議会

① 歳入	一、〇〇九、三三〇円	① 繰入金	四、五〇〇円
② 地方交付税	五、〇〇〇円	② 合計	四、五〇〇円
③ 県支出金	八、五三三円	③ 歳入	一、〇〇九、三三〇円
④ 合計	一四、五三三円	④ 施設費	一、六〇〇円
⑤ 歳出	一、〇〇九、三三〇円	⑤ 医療費	三三、五〇〇円
① 議会費	五、〇〇〇円	⑥ 合計	四、八三五〇円
② 役場費	三、六〇〇円		
③ 消防費	七、〇〇〇円		
④ 教育費	一三、〇〇〇円		
⑤ 社会及労働施設費	四、〇〇〇円		

投票率八一・九パーセント ▽衆議院議員総選挙終る△

去る十一月二十日に行われた衆議院議員総選挙、最高裁判官の国民審査は、好天に恵まれて、本村では八一・九二パーセントと良好な投票率を示しました。これは過去五回における総選挙の最高ですが、戦後最高記録を作った二区の投票率と合せて、今回の選挙の重要性と激しさを思わせました。年々投票率が向上

今回の投票所別投票率

投票所	有権者	投票率
神土	一、〇五五人	八八、六%
神付	一、〇五五人	八八、六%
越原上	一、〇五五人	八八、六%
越原下	一、〇五五人	八八、六%
五加	一、〇五五人	八八、六%
計	五、二七五人	八一、九%
加茂郡	四、〇〇〇人	八一、九%
第二区	四、七〇〇人	八一、九%

早くおぼえて事故を防ごう 新道路交通法二十日から

新しい道路交通法がいよいよ本月の二十日から実施されます。早く新しい交通ルールを身につけることは、事故を防ぐため最も大切なことです。旧法と特に変わったところを簡単に述べてみました。もう一度おさらいしてしつかりした心構えを、歩行関係

(1) 学童幼児を保護する義務
通学途上の子どもには必要な場合、警察官はもちろん、それ以外の人たち

(2) 歩行者の保護
車庫などに入りますたために歩道にはいろいろとすまじき横断歩道を通行中の歩行者があるときは、一時停車して歩行者の安全を図ることとなった

(3) 酒気帯び運転の禁止
酔つていなくても一定量(政令で定める)以上のアルコールを体内に持っているときは運転してはならない。酔つばらばら運転が罰せられるのはこれ

は酒気を帯びて交通違反をした場合罰則が二倍になる。

(4) 運転方法の変更
優先順位では現在普通乗用車と同順位の自動二輪車が一段下の順位にさがられ、右折法は右外小廻りの原則が右内小廻りとなる。

(5) 道路環境に関するもの
駐車禁止の場所として新しく次の場所が加えられる。

(6) 野外にある乗降場、荷扱所、車庫などに通じる出入りから三メートル以内(7) 道路工事場所から五メートル以内。

年末年始はつ、ましく 今年こそは虚礼廃止を

三十五年も余すところあつてよりよい新年を迎えたいと思つて、今年こそは虚礼廃止を、一、年末年始の形式的な贈答品の廃止
二、忘年会、新年会、クラス会等の自費、二次会、三次会の廃止
三、門松は代用門松、枝松を使用
四、年始あいさつは学校ありは神社での互礼会です、個人あいはあいらは主婦の立場を考慮して自費とする
五、見栄をたてられた年末

安江君 フランスえ

本村越原区出身の安江都雄君(二四才)は海外派遣鑑別士として、去る十一月十八日東京羽田空港よりフランスへ旅立ちました。同君は鑑別士として優秀な技術を持ち、高等鑑別士の免許があります。かねてより日本鑑別協会に於いて優秀な鑑別士を海外へ派遣するにあたり人選をすすめていましたが、フランスへ派遣する三人のうち一人に同君が選ばれました。フランスでは約六ヶ月間滞在し鑑別士としての仕事にたずさわると共に、鑑別士の育成にも努めることになり、日本の技術の優秀さを示すことになりました。

編集室

昭和三十五年もあと十日余り、月日のたつのは本当に早いものです。広報もこの十二月号で五十一号になりました。来年も東白川村民の広報として立派なものにしたいと思つて、皆さまの意見をお待ちしています。良い新年をお迎え下さい。